

ギニア月報(2019年7月)

主な出来事

【内政】

- 5日, 国民議会(通常国会)が閉会。一夫多妻制を制限する法律, 憲兵隊の武器使用許可に関する法律, 中国企業TBEA社とのコンクレ(Konkouré)川アマリア水力発電所(300MW)建設に関する協定, アジアインフラ投資銀行(AIIB)への加盟, ダカール=アビジャン高速道路建設, テロリズムの予防と抑圧に関する法律を採択。

【外政】

- 3日から5日にかけて, ソマリランド「大統領」がギニアを訪問。ソマリア政府は, ギニアと国交断絶。
- 7日及び8日, コンデ大統領AU総会出席。

【経済(経済協力を含む)】

- 22日, SMB社(ボケ鉱山会社)がボケ空港の滑走路, 格納庫, 空港ビル, 事務所の改修を発表。同工事は150万米ドルと見積もられ, 7月13日に工事が着工, 10月完成予定。

1 内政

- ・ 5日, 国民議会(通常国会)が閉会。一夫多妻制を制限する法律, 憲兵隊の武器使用許可に関する法律, 中国企業TBEA社とのコンクレ川(Konkouré)アマリア水力発電所(300MW)建設に関する協定, アジアインフラ投資銀行(AIIB)への加盟に関する法律, ダカール=アビジャン高速道路建設に関する法律, テロリズムの予防と抑圧に関する法律を採択。
- ・ 9日, スス族の伝統的指導者スマ氏(Sékouma Soumah)が, コンデ大統領3選に反対を表明。同氏は2015年の大統領選挙の際はコンデ大統領を支持。
- ・ 29日, ルア漁業・養殖・海洋経済大臣は, 2014年から課せられている制裁解除後にEUへの輸出を再開, 漁業者からの税収が100億ギニアフラン(2010年)から660億ギニアフラン(2018年)へ増加したと発表。

2 外政

- ・ 3から5日にかけて, ソマリランド「大統領」がギニアを公式訪問。ソマリア政府はギニアと国交断絶。
- ・ 7日及び8日, コンデ大統領が, ニジェールのニアメで行われたAU総会に出席。
- ・ 8日, キンディア選出のファジガ議員(Demba Fadiga)が, 中国の供与3,000万米ドルにより, 新しい国民議会議事堂を建設すると発表。新議事堂はコナクリ市コロマ(Koloma)地区に建設予定。
- ・ 11日及び12日, 東京で開催された「水棲生物資源の持続可能な利用に関する会合」に, フォファナ大統領府漁業担当顧問(閣僚級), ディアロIWCコミッショナーが出席。

- ・ 13日及び16日、リベリアのウェア大統領が当地訪問、ボケ(ボーキサイド掘削、積出港)を視察。
- ・ 23日、コンデ大統領は、アフリカ開発銀行のコナクリ事務所開所式に出席。
- ・ 25日、コンデ大統領はリベリアのモンロビアで行われた同国の172回目の独立記念式に出席。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 1日、ギニア中央銀行が2019年6月に発表したレポートによると、2019年6月現在、ギニア政府が返済すべき累積債務は24億米ドル、国内総生産の21.7%。
- ・ 3日、コンデ大統領は、トルコのアルバイラク社(ALBAYRAK)によるコナクリ自治港改修工事の進捗状況を視察。
- ・ 13日、コンデ大統領は、ギニア南東部のシマンドゥ鉄鉱石鉱山の第1ブロックと第2ブロックの採掘の入札を開始する大統領令に署名。これらのブロックは2006年にイスラエル系フランス人スタインメッツ氏(Beny Steinmetz)率いるBSGR社(Beny Steinmetz Group Resources)が採掘権を獲得したが、同社の不正により2014年にギニア政府が買戻していた。
- ・ 18日、アラブ首長国連邦の経済団体が当地訪問、ギニア政府と連携する投資プロジェクトを実施予定。同プロジェクトは100億米ドルと見積もられている。
- ・ 22日、SMB社(ボケ鉱山会社)はボケ空港の滑走路、格納庫、空港ビル、事務所の改修を発表。同工事は150万米ドルと見積もられ、7月13日に概に工事は着工、本年10月に完成予定。